

医療メディエーション研究会「架け橋」 入会のご案内

代表 豊田郁子（新葛飾病院） 副代表 北田淳子（阪南中央病院），清水陽一（新葛飾病院）

発起人 稲葉一人（姫路獨協大学法科大学院），加部一彦（愛育病院），
豊川 達記（豊川小児科内科医院），安井はるみ（神奈川県看護協会）
杉本こずえ（新葛飾病院），高山詩穂（武蔵野赤十字病院）

理念：医療者と患者家族間の信頼関係を回復するための コミュニケーション・対話を促進する

医療事故をきっかけとして、患者・家族と
医療者との信頼関係が危機に陥る。
解決を求めて選んだ裁判が、
果たして関係者にとってよい選択だったのか？
事故の被害者・加害者という対立を解消せず、
真の対話のないまま、関係者は納得し、
信頼関係を回復できるのか？

ADR（裁判外紛争解決）の導入が急務だとい
う声がきこえてくる。

しかし、ADRの目的が、裁判を回避するた
めだけの取り組みであっては、患者・家族
には到底受け入れられず、逆に医療従事者
との溝が深まるのではないだろうか。

新葛飾病院ではこの「溝」を埋め、患者家族と
医療者の“架け橋”となるため、院内メディ
エーション活動を行ってきた。この活動では、
「相手の考えや思いを聴き、対話する」スタイ
ルを貫くことにより、日常的に医療者・患者家
族に接することの必要性、対話を通じて医療者
と患者・家族の信頼関係が変わるといった実感等
を得た。さらに、対話を促進するために適時、
院外の第三者から支援を得る体制も必要である
ことを実感した。



研究会「架け橋」は、これまで実践してきた院内メディエーション活
動や、多くの医療現場の知恵を集め、広く共有するために発足しました。
一つ一つの事例を共有し、検討していく過程のなかで、それぞれが感じ
たこと・考えたことを実践に生かしていくことを目的に活動していきま
す。多くの皆様のご参加をお待ちしています。

“架け橋”活動予定

1. 交流活動
2. 院内研修会の支援
3. 院内メディエーション活動支援
4. 事故で傷ついた方への支援
5. メディエーション・トレーニング
6. 医学・看護教育支援
7. 広報・研究活動

申込方法：必要事項をご記入の上、お申し込みください。

*会費等はありません。

記入事項：①名前 ②所属機関 ③職種
④住所 ⑤連絡先（メールアドレス・電話番号・FAX番号）⑥研究会入会希望理由

“架け橋”入会申込先 メール：medmed-kakehashi@nifmail.jp

FAX 03-3697-1501

事務局：新葛飾病院医療安全対策室内 担当 杉本・豊田
東京都葛飾区堀切3丁目26番5号

設立シンポジウムのご案内

主催 医療メディエーション研究会「架け橋」

日時 平成20年3月8日(土)14時30分～17時30分(14時～受付)

場所 愛育病院隣接「日本子ども家庭総合研究所」4F講堂

テーマ「何故、今、“架け橋”が必要なのか」

- ・発起人からの提言
- ・会場との意見交換

参加費(資料代含) 1000円

定員 100名(申込み先着順)

申込方法

必要事項(氏名・住所・電話番号・FAX番号・メールアドレス・職種・所属機関)をご記入の上、お申し込みください。



設立シンポジウム申込先

メール：medmed-kakehashi@nifmail.jp

FAX 03-3697-1501